

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ベイス・ベイスキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年1月12日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年1月12日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『ベイス』および『ベイスキッズ』を展開し、年齢や発達段階に応じた支援体制を整え、成長に合わせた支援を行っている点。	ベイス・ベイスキッズともに【自発性・協調性・生活力】の育成を大切にしながら、年齢や特性に応じた活動設定を行っている。共通の目標のもと、一人一人の成長に寄り添い、次の段階につながる支援を意識している。	ベイスとベイスキッズ間での連携をより強化し、成長段階に応じた支援の引き継ぎや情報共有を丁寧に行うことで、切れ目のない支援体制の充実を図っていく。
2	年齢や発達段階、個々の興味関心に応じて活動内容を工夫し、子どもたちが主体的に挑戦できる環境を整えている。	お泊り会やデイキャンプ、サバイバルゲーム、釣り、お買い物体験など多様な活動を取り入れ、発達段階や興味関心に応じて支援内容を調整している。子ども一人ひとりの成長に合わせて、挑戦できる課題設定や支援のタイミングを工夫している。	・活動内容や支援方法の充実だけでなく、保護者や地域と連携した体験の機会を増やすことで、家庭や地域生活における学びや成長につなげる取組を進めていく。 ・職員間の情報共有や振り返りを強化し、支援の質と効果の向上を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方と直接お話しする機会が少なく、対面での情報共有が十分に行えない場合がある。	送迎形態や日々の支援時間の関係から、保護者の方と直接お話しする時間を確保しにくい状況があり、対面での情報共有の機会が限られていることが要因として考えられる。	保護者会の実施や、半年に一度の個別支援計画書の確認・面談の機会を大切にするとともに、会議や保護者からの発信があった際には速やかに情報共有を行い、保護者との連携強化を図っていく。
2	地域との連携や交流の機会が限られており、地域とのつながりづくりに課題がある。	事業所内での支援が中心となっており、地域とのつながりを意識的に広げる取組がこれまで十分に行えていなかったことが要因と考えられる。	体育館利用時や年1回の交流祭りなど、既にある交流の場を継続的に活用し、日常的な支援の中でも地域との関わりを意識した取組を行っていく。
3	職員数に限りがあり、状況によっては十分な支援体制を維持することが難しい場面がある。	職員数が限られているため、体調不良等で一人欠けるだけでも支援体制の維持が難しくなることが、課題の要因となっている。	職員が欠けた場合でも支援体制を維持できるよう、今後はタイミーなどの臨時スタッフの活用を検討するとともに、職員間で業務分担や連携の工夫を行い、安定した支援体制の確保を図っていく必要がある。